



フотスクール 参加団体募集!



世界的写真家の
作品鑑賞と
デジタルカメラ講座で
写真の楽しさを
体験しよう。



概要

- ◆プログラム(120分)
作品鑑賞(展示室の解説)(15分)
→デジタルカメラの基礎講座(30分)
→美術館内外での撮影会(30分)→講評(45分)
- 対象:10人~25人のグループ ■講師:写真愛好家
- 機材:美術館で用意したデジタル一眼レフカメラ(1人1台)
- 費用:無料(町外の方は入館料が別途必要)

※詳しくは、美術館へお問合せください。

美術館展覧会情報

////////// A・B・C展示室(2・3階) //////////

私風景:植田正治のまなざし

////////// 6月9日(日)まで開催中 //////////

今回の展覧会タイトル「私風景」は、〈風景の光景〉と呼ばれるシリーズ(1979-83年)の一部を、植田がカメラ雑誌に発表した際に使用した言葉です。その誌上で植田は次のように記しています。「写真にはテーマが大切、といわれる。私にとっては、「日常」そのものがテーマだからことさら気負わなくても、これでいいのだ、とおもっている。」植田が風景を撮影する際に、なにも風光明媚な場所にこだわったわけでも、ドラマティックな瞬間をねらったわけでもないことがよくわかります。何気ない瞬間、「日常」を個性的な「まなざし」で淡々と捉えたのが植田の「風景写真」なのでしょう。そして、このことは、1970年代から80年代にかけての植田の作品に限ったことではなく、戦前からの作品に共通して見られる植田の普遍的な特徴です。ただ、1960年代に撮影された〈松江〉のシリーズは、植田の風景の中でも少し異質に感じられるかもしれません。出版の企画が先行していたこともあるかもしれませんが、「古きよきもの」を記録する、描き出すといった意識が強い作品群のためでしょう。しかしながら、その中でも植田のユニークな視点、構図がところどころに感じられ、意欲的なシリーズとなっています。



シリーズ〈風景の光景〉より 1979-83年

問い合わせ先

伯耆町立植田正治写真美術館 TEL:0859-39-8000

■メール: bijyutsukan@houki-town.jp ■ホームページ: <https://www.houki-town.jp/ueda/>
■開館時間/10:00~17:00(最終入館は16:30) ■休館日/毎週火曜日(祝日の場合は翌日) ※4月30日(火)は開館

町民の方は入館無料です。
ご来館の際は、広報ほろき3月号無料招待券をご利用いただくか、免許証など住所のわかるものを提示してください。